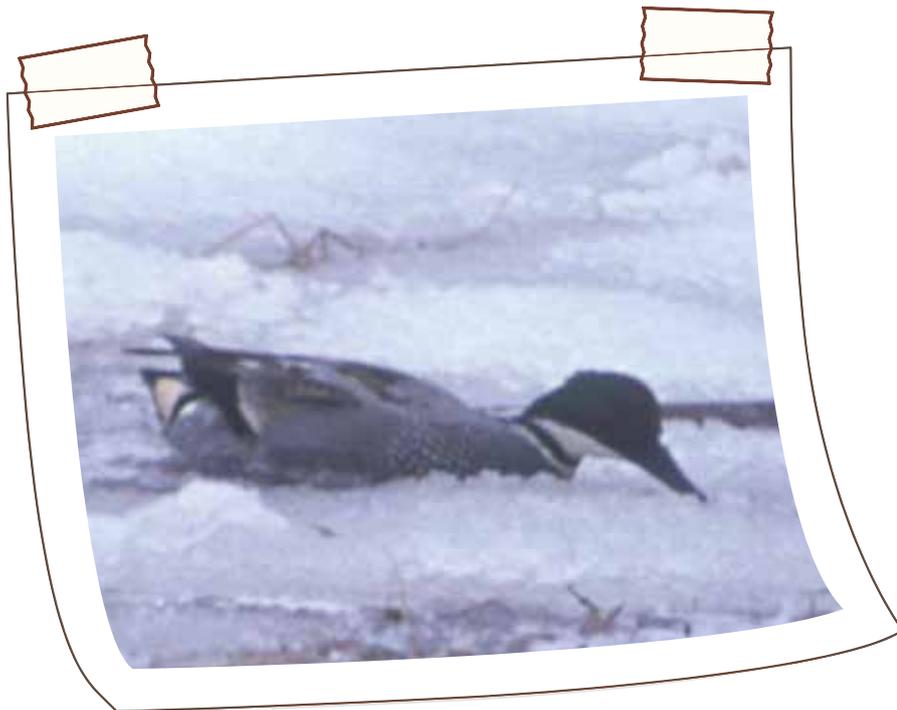




ネイチャーセンターだより

2014年11.12月号

いきもの図鑑



ヨシガモ (カモ科)

学名 *Anas Falcata* 【鎌型の翼を持つカモ】
英名 Falcated Duck

オスは、頭に光沢のある緑色のナポレオンハットをかぶり、首に黒いチョーカーをつけている様なおしゃれなカモです。尾羽の上に翼（三列風切）の長い羽が鎌形に覆いかぶさる様子から学名や英名がつけられました。

和名のヨシガモは、うつくしいかもという意味の「をしかも」が転じたものと言われています。

カモの群れを見ると混じっていることがありますので探してみてください。

【11月】

風蓮湖でオオハクチョウが最も多くなります。湖の中だけではなく、海側にもカモが増えてきて、クロガモやビロードキンクロ、ホオジロガモ、シノリガモ、コクガンなどが見られるようになります。年によってはレンジャクなども渡ってき始め、だんだんと寒さが増していきます。



11、12月の見どころ



【12月】

寒さが厳しくなるにつれ冬の鳥たちが見られるようになります。オオワシやベニヒワ、ハギマシコ、年によってはユキホオジロなどが、まだ数が少ないながらも見られるようになります。コオリガモなど海ガモの種類も増え、下旬には風蓮湖が凍り始めます。

見どころMAP

クロガモやピロードキンクロなどの海ガモのなかが渡ってきます。

エゾシカがどんだん第一砂丘の草原に集まってきます。

エゾリスやキタキツネ、エゾシカなど森の動物たちに出会えるかも！



オオアカゲラやアカゲラ、ハシブトガラ、ゴジュウカラなどカラヤケラ（キツキ）が見られます。

オオハクチョウやコクガン、ヒシクイ、淡水ガモの仲間がたくさん集まります。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

風蓮湖・春国岱とシギ・チドリ調査

秋の渡りにあわせて、風蓮湖・春国岱の代表的な渡り鳥であるシギ・チドリ類の種類と数を調べる調査は9月23日が最終回でした。今年は8月末が最も数が多く、最終回の調査では100羽に届かない程しかシギ・チドリの仲間を確認できませんでした。昨年度の調査では9月18日の回が最も多かったことからみると、今年はずいぶん早く風蓮湖・春国岱を去ってしまったようです。

今年は、写真のように春国岱の第一砂丘が分断してしまったため、先端部のシギたちは確認できませんでしたが、それでもアオアシシギ、イソシギ、ウズラシギ、オオソリハシシギ、オオメダイチドリ、オバシギ、キアシシギ、キョウギヨシギ、キリアイ、ソリハシシギ、ダイゼン、タカブシギ、チュウシャクシギ、トウネン、ハマシギ、ミュビシギ、ムナグロ、メダイチドリの18種類を調査中に確認することができました。

春国岱の第一砂丘は、何度か分断したことがあり、自然に分断部が砂で埋まり元に戻ったこともあるそうです。数年前に分断した際には自然石堤を海沿いに設置し人工的に分断部をふさぎました。今回の分断部が今後どうなっていくか、これからも注視していきたいと思います。



トピックス

ネイチャーセンターまつり 大盛況！

10月19日、秋晴れの気持ちの良い日曜日、たくさんの方が家族連れでイベントに参加してくれました(主催ボランティアグループ スク)。今年は、屋外でロープを使って木に登るツリーイングと自然を素材にして遊ぶネイチャーゲーム、館内でカスタネットやマイ箸づくりなどができる木工体験コーナーの豪華三本立てでした。ツリーイングでは10名が一度に登れる大きなハルニレに挑戦しました。コツをつかめばスイスイ登ることができ、参加者はハンモックでひと休みしたり、森を上から一望して楽しんでいました。ゲームは、葉っぱや枝や周囲の特徴をヒントに、広い森の中から一本の木を探し当てたりして、普段何気なく歩いている森をじっくり観察しながら歩きました。木工体験はオリジナル作品をすべて持ち帰りできるので、箸に焼印するなど工夫を凝らして熱心に作っていました。参加してくれたみなさんありがとうございました！



ワイズユースの会がハマナス保全

10月13日、台風の進路が心配される中予想外に天気に恵まれ、無事に春国岱の第一砂丘のハマナス群落に合わせて長さ125mのエゾシカ侵入防止柵(シカ柵)を設置することができました。

春国岱には約3kmにもおよびハマナスの大群落があり、夏になると美しい花やそこに子育てに来る小鳥たちを楽しむことができました。しかし、この数年でエゾシカの食害がひどくなり、樹高が20cmほどしかなくなり、花や実の数も減り、鳥たちの姿も減ってしまいました。そこで、根室ワイズユースの会が主体となり、ハマナス群落とそこに暮らす生き物たちを守るためシカ柵を設置することにしました。当日は、30名以上の市民が参加し、周囲100mの区画を5つ、計3,125㎡のハマナス群落を囲いました。

この後は、保全した区域の植物の変化や、鳥が戻ってくるかななどを調べていく予定です。



春国岱クイズ

アマモは、風蓮湖にやってくるオオハクチョウやコクガンの大切な食べ物になっている水草です。風蓮湖は水深が浅いところが多いのでたくさんのアマモがはえています。さて、どうしてこの水草はアマモと呼ばれるようになったのでしょうか？(A, Bから答えを選んでください)

A. 地下茎(地面の下のくき)をかむとすこし甘く感じるから

B. 海女さんがかみの毛をしばるのに使ったから



かたそうだけど
かじった人が
いたんだね～

先月号の答え…A

イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
11月9日（日） 10：00－12：00	オオハクチョウ観察会 オオハクチョウやカモたちが風蓮湖に戻ってきました！ 彼らの表現豊かなしぐさにはちゃーんと理由があるのです…！ この季節ならではの鳥たちについて学べる絶好の機会です。	1000円 （保険料代）	定員20名（先着） 11/6までにお申し込みください ※小学生以上（小学生は保護者同伴） ※集合：ネイチャーセンター ※野外で活動できる暖かい服装、あれば双眼鏡
12月6日（土） 14：00－15：00	フィールド講座① 風蓮湖のアマモ（仮題） 風蓮湖の湖底に広がる広大なアマモ場。多くの生き物をささえるアマモについて霧多布湿原センターの河内 直子さんから話をうかがいます。	無料	定員20名（先着） 12/4までにお申し込みください ※一般 ※会場：ネイチャーセンター

ボランティアさん募集中！

春国岱ネイチャーセンターでは、個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
フィールドボランティア 300円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆11月休館日：4・5・12・19・25・26日

開館時間：9：00～16：30

◆12月休館日：3・10・17・24・25・30・31日（～1月5日）

開館時間：9：00～16：30

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録